

# 行動規範審査委員会の職責説明

## 概要

SIA の事務局長／CEO、インパクト&エンゲージメント最高責任者、メンバーシップ・ディレクター、またはその他の指定されたスタッフ代表者、ならびにボランティアの公募と応募書類の提出を通じて SIA インパクト&エンゲージメント最高責任者により任命された 4 名のボランティアメンバーで構成されます。任命された時点で SIA 理事会の現役メンバーを務める人物を、メンバーのうち 1 名に含める必要があります。

行動規範審査委員会 (CCRC) は、規範に対する違反行為に関する申請内容のうち、繰り返し発生しているものや、より深刻なものについて審査を行います。同委員会は、すべての申請内容を 30 日以内に審査し、受け取ったすべての苦情について書面による勧告を返送します。重大な苦情については、理事会にエスカレーションされます。

CCRC のメンバーが所属するクラブ(またはリジョン)に関連した利害の衝突が生じた場合、そのメンバーは状況によっては辞退を求められます。メンバーは任期が重ならないように調整された 2 年任期で務め、機密保持、バイアス、および手続に関する年次研修を受けます。

CCRC のメンバーが、機密保持、バイアス排除、SIA の手続に関する基準に違反している、または「会員およびリーダー向けの行動規範」に対し重大な違反を犯していることが判明した場合、直ちにその地位から解任され、さらなる調査を受ける可能性があります。

## A. 資格要件と求められる能力

- クラブの適格な会員であること。
- 下記の当団体のコア・バリューに精通し、これを支持していること。
  - 男女平等
  - エンパワースメント
  - 教育
  - 多様性とフェロウシップ

- 問題解決能力、紛争解決能力、コミュニケーション能力などを含む(ただしこれらに限定されない)リーダーシップ能力を有すること。
- SIA の E メール・リストに登録された E メールアドレスを持っており、定期的にチェックしていること。コミュニケーションと最新情報を確実に受信できるよう、この E メールアドレスを連盟事務局に伝えていること。
- 「会員およびリーダー向けの行動規範」を模範として体現・遵守していること。
- 機密保持の基準を遵守し、バイアスを避け、手続に従っていること。
- 自身が強力な貢献者となれることを裏付ける職務経験またはボランティア経験を簡潔にまとめた申請書を作成していること。
- メール、PDF、Zoom 通話などを含む(ただしこれらに限定されない)テクノロジーを使いこなす能力、および必要に応じて通話中に通訳を利用する能力を有していること。
- 過去 24 ヶ月に CCRC に申請されたアピールの対象となっていないこと。

## B. 具体的な任務

- クラブまたはリジョン・レベルで申請から 30 日以内に解決されなかった懸念事項についての報告を受け付け、審査する。
- 初期評価の段階で、経営陣およびスタッフと協働する。
- 職責に関連する研修に必要なに応じて参加する。
- 調査を行い、行動規範との整合性を評価し、必要な措置を勧告する。
- 懸念事項に対処するための行動指針として、解雇、行動規範審査委員会への差し戻し、クラブまたはリジョンへの差し戻し、理事会への差し戻し、リーダーシップ／会員籍の一時停止、またはリーダーシップ／会員籍の永久的な取り消しを提案する。

## C. 協働

- 行動規範審査委員会のメンバーは、SIA 会長に対して説明責任を負う。同委員会メンバーは、SIA メンバーシップ・ディレクター、インパクト&エンゲージメント最高責任者、および事務局長／CEO と連携する。